

令和4年度の重点課題

○情意面での課題

- ・運動やスポーツをすることに肯定的でない児童の割合が7%である。
- ・体育の授業に対して肯定的でない児童の割合が7%である。
- ・昨年度と比べて、肯定的に捉えていない児童の割合が低くなっているが、さらに意欲を高めていく。

○体力面での課題

- ・全8種目中男子が4種目に、女子が1種目に課題が見られた。その中でも特に男女共通して「立ち幅跳び」の結果が、県平均値、全国平均値を大きく下回っており、男子が県平均と比べると15.94cm低く、女子が12.9cm低い。男女共に、筋パワーに課題がある。

上記の課題を受けて具体的に取組んだ事項

○体育の授業で取組んだ事項

- ・運動量を増やし、運動機能を高めながら、体力向上につなげた。児童の中で、体の動きを交流したり、フィードバックしたりしながら、技能を高めることができるようにした。
- ・運動が苦手な児童や運動に意欲的でない児童への指導について事前に学年間で計画した。声かけなどの手立てを計画・実践することで、意欲向上につなげた。
- ・朝会や授業開始5分などに、筋パワーを高めるためになわとびをした。音楽をかけて、リズムよく跳ぶことで、楽しく運動をする機会を確保することができるようにした。また、運動後のストレッチをすることで、体を動かす可動域を広げて、けが予防に努めた。

○体育の授業以外で取組んだ事項

- ・本校で行う「ロング昼休憩」の時間に、体育委員会や児童会を中心に、外遊びやなわとび大会、縦割り班あそびなどを計画することで、全児童が楽しくスポーツに触れる機会を確保し、それに向けて、各クラスで目的意識をもって取り組めるようにした。
- ・ICTを使って、定期的にアンケートを行い、児童の実態にそった授業改善を行うことができるようにした。

令和5年度新体力テストの結果 県平均値(令和4年度)・全国平均値(令和3年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	17.70	19.84	27.00	44.40	36.92	9.37	140.67	24.54	51.86	第5学年	15.20	16.38	33.00	41.67	33.17	9.47	134.66	13.93	52.46

県平均値かつ全国平均値未満

令和5年度新体力テストの結果 県平均値(令和5年度)・全国平均値(令和4年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	17.70	19.84	27.00	44.40	36.92	9.37	140.67	24.54	51.86	第5学年	15.20	16.38	33.00	41.67	33.17	9.47	134.66	13.93	52.46

県平均値かつ全国平均値未満

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第5学年	72.00	28.00	0.00	0.00	第5学年	50.00	44.44	5.56	0.00

学校独自の意識調査

5年生「体を動かすことが好きですか」  
 ・好きな児童 66.7% ・やや好きな児童 28.6% ・やや嫌いな児童 2.4% ・嫌いな児童 2.4%  
 5年生「体育の授業は好きですか」  
 ・好きな児童 61.9% ・やや好きな児童 35.7% ・やや嫌いな児童 2.4% ・嫌いな児童 0%

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

- アクティブチャイルドプログラムの中から「言うこと一緒、やること一緒」等の運動を取り入れ、楽しく運動することで運動に対する意欲向上につなげる。
- 運動が苦手な児童や運動に意欲的でない児童への指導について事前に学年間で計画する。声かけなどの手立てを計画・実践することで、意欲向上につなげる。
- 跳躍力を向上させるために準備体操で「ジャンプスクワット」や「カウントジャンプ」を取り入れ、運動量を増やし、運動機能を高める。
- なわとびを扱うときは、「タイミングよく跳ぶこと」のポイントを指導する。
- 学年に合わせて、各単元の指導が始まる前に伸ばしたい力を共有や確認し、その力にあった運動を行う。

体育の授業以外で行う取組内容

- 本校が週に1回行っている「ロング昼休憩」で普段の休憩で外遊びをあまりしない児童へ外で友達と体を動かして遊んでみるよう声をかけたり、クラス全員で遊ぶような内容を計画したりすることで、児童が体を動かすことは楽しいことだと感じられるようにする。
- マラソン朝会を全校児童で行い、基礎的な体力が育まれるようにする。

重点課題

○情意面での課題

- ・運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることに対して肯定的でない児童の割合が4.8%である。
- ・体育の授業に対して肯定的でない児童の割合が2.4%である。

○体力面での課題

- ・全8種目中男子が3種目に、女子が5種目に課題が見られた。昨年度に引き続き、男女共通して「立ち幅跳び」の結果が県平均記録や全国平均記録を下回っており、県平均記録と比較すると男子が14.09cm、女子が13.78cm低い。男女ともに跳躍力及び筋パワーに課題がある。

令和6年度の重点目標値

- 楽しく運動することで運動に対する意欲を向上させるためにアクティブチャイルドプログラムの運動を取り入れ、学校独自の意識調査「体を動かすことが好きですか」「体育の授業は好きですか」で肯定的な回答をする児童の割合を維持する。(95%以上)
- 立ち幅跳びの平均記録を男子は5cm、女子は3cm向上する。